

【リファイニング建築都市・再正協会、ご案内】

数寄屋建築家の田野倉徹也先生の講演会を、下記の通り ZOOM にて開催しますので、お知らせ致します。

「SDGs」を旗印に木材の活用が叫ばれるようになった一方で、「適材適所」という言葉を生み出した日本文化の中で「銘木」の世界は忘れ去られつつあるように思われます。東京木場にかつては 500 軒以上あった銘木屋も、この 5 年で 20 軒が店を閉じ、現在残っているのは 70 軒となってしまいました。「(木造は)木を使えばいいってもんじゃない」という大学時代の恩師の言葉を噛みしめつつ、銘木の世界についてお話しします。

記

<講演会について>

開催日時 : 12月8日(木) 17時~18時30分

テーマ : SDGs 社会から取りこぼされる木の世界

参加費 : 無料

参加申込 : 参加申し込みは、下記リンクから ZOOM への登録をお願いします。

田野倉先生 ZOOM 講演会・申込みリンク

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZEpdCrrTosHNL6qp54UmujLLKpO6wJ6hzQ>

<田野倉徹也先生プロフィール>

数寄屋建築家。田野倉建築事務所、代表取締役。

東京大学・同大学院工学系研究科建築学専攻。

大学院卒業後、鹿島建設を経て独立。伝統的な数寄屋や社寺の実作を手がける。

漫画家・山下和美邸(2012)では、家づくりを題材とした漫画『数寄です!』に蔵田徹也として登場、執筆や監修も行った。世田谷区の旧尾崎邸洋館の保存活用にも携わり、現在耐震補強工事中

(2023 竣工)。同じく山下和美の漫画『世田谷イチ古い洋館の家主になる』を監修している。

社寺としては、江島神社奉安殿改修(2015)、慶圓寺本堂(2016、葛飾区)、大福寺客殿

(2018、雲仙市)など。伝統芸能にも造詣が深く、淡路能楽公演「能楽 A~建築」の主催

(2004)、にっぽん文楽公演の組立て舞台(2015以降全7回)や岡山RSKの新社屋の能舞台

(2020)の設計の他、舞台監督なども務める。新宿柿傳の茶の湯同好会や淡交社文化事業部での数寄屋に関する講座や、遠州茶道宗家とも座談会を行っている。共著に『五十八さんの数寄屋』(2020)。

以上

---

一般社団法人リファイニング建築・都市再生協会

《住所》〒106-0046 東京都港区元麻布3丁目1-26

《Mail》info@refining.or.jp

《TEL》03-6447-2806

---